

## あ い さ つ

青 木 村

おはようございます。

本日、令和7年第3回青木村議会9月定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにご出席をいただき、誠にありがとうございます。

今年の夏も各地で3年連続記録更新の猛暑でした。

7月の全国平均気温は平年より2.89度高く、統計開始以降で最も暑くなりました。8月5日には群馬県伊勢崎市で41.8度を記録し、観測史上最高気温を更新しました。また、降水量が記録的に少ない地域もあり、農作物にも深刻な影響が出ています。

今年の激しい気温上昇の主な原因は、地球温暖化を起因とする6月の「トリプル高気圧」（チベット高気圧、太平洋高気圧、南北傾斜高気圧）の影響で日本周辺に急速に熱が蓄えられたことだと言われています。

9月以降も猛烈な暑さは収まりません。

青木村でも異常な暑さとなり、様々な対策を講じました。

まず、広報あおきの6、7月号に熱中症への注意喚起の記事を掲載しました。6月号では『～梅雨の時期編～』として湿度が高い時期の予防対策を、7月号では『暑さ本番編』として、熱中症の症状と対応を掲載しました。

また、高齢者の熱中症予防のため、民生児童委員の皆さんに「お元気訪問」を実施していただきました。70歳以上の高齢者及び高齢者世帯等を対象に、全部で285名の方を訪問いただき、多い委員さんは1人で24人も担当していただきました。お疲れさまでした。

屋外で働く人の多い農業関係者には、熱中症の予防や対応に関するチラシを農業委員会の皆さんを通し配布し、注意喚起に努めました。

教育関係では、村営プールの営業を1週間延長、児童センターの遊戯室への空調設備設置、武道館へのスポットクーラー設置を行いました。（※保育園の遊戯室には5年前から空調設備が設置されています）

道の駅あおきでも、市庭にテントを張る、ぷらっと家(ホーム)あおきで不特定多数の人に涼んでいただけるようにするなど、暑さ対策を講じました。

「令和の米騒動」として注目されている米の問題につきましては、日本の食料の安全保障において極めて重要な問題であります。村の農業の中核をなす稲作は、最重要課題であります。

政府は米の増産に舵を切りました。青木村の今後の水田農業については、国の動向を注視しつつ検討を続けてまいります。国に対しては、一日も早く新たな米政策を確立し、具体的な内容の公表を切にお願いしたいと考えております。

村特産タチアカネにつきましては、昨年の夏の長雨と猛暑により記録的な不作となり収量が少なかったため、本年は初めてタチアカネの春播き夏収穫に挑戦しました。

4月24日から播種を、7月17日から収穫を行いました。おかげさまで生育は順調で、約4.5トンの収量があり、道の駅あおきや村内蕎麦屋へお届けすることができました。

80回目の終戦記念日を迎えた8月15日、「全国戦没者追悼式」が日本武道館で開かれ、天皇、皇后両陛下や石破茂首相、戦没者遺族らが参列し、約310万人の戦没者を慰霊しました。

石破首相は「戦争の惨禍を決して繰り返さない。進む道を二度と間違えない。」と決意を述べました。正午に参列者全員で1分間の黙とうをささげた後、天皇陛下が「戦中・戦後の苦難を今後とも語り継ぎ、私たち皆で心を合わせ、将来にわたって平和と人々の幸せを希求し続けていくことを心から願います。」とおことばを述べられました。役場でも職員全員で黙とうを捧げました。

今年は戦後80年ということもあり、テレビ、新聞などでも多くの特集が組まれ、改めて平和の尊さを考える機会がたくさんありました。先の戦争を経験した人は現在日本人口の1割で、私も数少ないその中の一人となりました。世界では今もなお、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ侵攻など戦争が続いています。戦争により失った多くのかけがえのない命、ひどい食糧難、言葉では表せないほどの深い悲しみや苦難を、今を生きる私たちは次の世代に伝えていく使命があります。日本の、そして世界の恒久的な平和のために、不断の努力を惜しんではなりません。

あおきネットワーク整備事業についてですが、このネットワークは、緊急時の情報伝達手段の多重化を図り、村民の皆さんが暮らしに役立つ便利な情報が受け取れるなど青木村独自の情報通信インフラであり、村内全域をカバーする仕組となっております。

8月より、当郷、殿戸地区など第二工区での工事が始まっています。8月末現在で約720世帯の工事が完了し、10月には青木、村松地区などの第三工区で工事が始まります。これに伴い、平成23年4月からスタートしました現在の情報電話は、9月30日をもって終了いたします。

また10月には、お出かけ先で、あおき電話やあおきチャンネルと同様に村の情報が受け取れるスマートフォンアプリ「あおナビ」のサービスがスタートします。無料でどなたでもご利用ができますので、多くの皆さんにご利用いただきたいと思います。10月1日(水)に、利用開始のセレモニーを実施予定です。

事業費11億円を超える、村の重点プロジェクトでありますので、村民のみなさまのご協力をいただきながら、確実に事業を進めてまいります。

資源循環型施設の建設についてですが、上田地域広域連合及び上田市は、これまでの資源循環型施設建設対策連絡会との対話の積み重ねを踏まえ、6月6日(金)、建設地決定に関する基本協定を締結しました。四半世紀の懸案に区切りを付けることができ、苦渋の選択をいただきました地元の皆さんには衷心より御礼申し上げます。

本年度から事業者選定の準備を進め、2031年度中の稼働を目指します。建設費は現時点で229億円ですが、各市町村の建設費負担割合はゴミの焼却量によるところから、村民の皆さんにはさらなるゴミの減量に努めていただきますようお願いいたします。村といたしましても『ゴミ減量』を村民運動として取り組んでまいります。

7月12日(土)、青木小学校の自転車クラブが、長野運動公園総合体育館で行われた「第58回交通安全子供自転車長野県大会」で見事初優勝を遂げました。この大会は、道路標識や交通ルールを問う筆記試験及び信号機や横断歩道、障害物を使つての自転車の運転技術や右左折の合図の正しさを競う競技会であり、日頃の練習の成果を充分発揮しての、青木小学校開校152年目の大快挙となりました。

8月6日(水)には、東京で開催された全国大会に出場しました。各都道府県代表の42チームが熱戦を繰り広げました。残念ながら入賞はできませんでしたが、青木チームは5年生3人、4年生1人の構成ですから、来年度のリベンジを大いに期待しております。

道の駅あおきは、お盆期間中(8月9日～17日の9日間)8,041人のお客さんを迎え、約1,000万円の売り上げがありました。

途中天候不良の日もありましたが、過去最高に近い盛況でした。

8月31日(日)、青木村総合防災訓練が行われました。最近国内では大雨や地震などが連続して発生しており、村民の皆さんの関心が高まる中での実施となりました。

現在全村で工事中のあおきネットワークなどを活用し「誰一人取り残さな

い」を合言葉に、地区の避難所で非常時に使用できるWi-Fiを使った情報連絡等、複数の連絡手段で伝達する訓練を行いました。改めて、あおきネットワークの効果を確認することができました。

9月の第3月曜日は、多年に亘り社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し、長寿を祝う敬老の日です。村では今年も敬老祝賀事業として、9月8日(月)に訪問しお祝いさせていただきます。対象は、米寿88歳：40名、白寿99歳：3名、100歳：5名、101歳：2名、102歳：3名、112歳：1名、(合計54名)の皆さんとなっています。

112歳の青木区宮沢たけ子さんは、県下一番の高齢者となりました。村からも表彰状をお渡しいたします。

千曲バス青木線は、これまで運賃低減事業を行ってまいりましたが、10月1日から、上田市と共同で行う利便増進事業へと移行いたします。

今まで、千曲バス株式会社の企業努力で青木線の運行は維持されてきましたが、運転手不足や燃料費高騰、利用者の減少等の課題があり、この運行が厳しくなっております。そこで、事業者が今後も継続して路線を維持・運行していくことを目的として、国からより支援を得るために、事業を変更するものです。

この路線の維持のため、これからは村民の皆さんには、1人1年に5回青木線に乗っていただけるよう、村民運動を始めたいと思っております。

8月28日(木)、村商工会と共催で第2回青木村企業合同就職説明会」を文化会館講堂で開催しました。企業12社が集まり、就職相談者22名が人事担当から説明を受けました。

企業の人材確保と就職支援につながるよう、引き続き事業を推進します。

それでは、先の6月定例会閉会後から本日までの主な行事の報告をいたします。

6月18日(水)、大鹿村へ公共事業の視察に行っていました。

リニア工事の残土は、地すべり地区の押え盛土や道路改良工事など公共事業に活用され、土砂運搬のトラックが地元との協定通り安全に運行されている様子を視察しました。

6月19日(木)、県庁で「ガソリン価格の適正化等に関する検討会」がありました。

第2回となるこの会議で、SS過疎地(市町村内のガソリンスタンドの数が3か所以下の自治体)で後継者不足が課題となっている当村の現状を発言して

まいりました。

8月2日(土)、「青木村夏まつり」は、天候にも恵まれ、大勢の村民の皆さんに参加していただき、盛大に開催することができました。

暑い中、各地区の神輿や踊り、義民太鼓や吹奏楽によるアトラクションなどで元気よく盛り上げてくれました。東信地区で金賞を取った中学校吹奏楽部の演奏に聞き入りました。

花火大会には、商工会の皆さんを中心に460万円ものご寄附をいただき、1,000発の豪華な花火による夜の饗宴を楽しませていただきました。

### 令和6年度決算の概要について

さて、本9月議会は決算議会でありますので、まず令和6年度の青木村決算状況について申し上げます。

#### 一般会計について

|          |                        |
|----------|------------------------|
| 歳入総額     | 40億9,107万5,306円        |
| 歳出総額     | 38億6,454万7,468円        |
| 歳入歳出差引額  | 2億2,652万7,838円         |
| 繰越明許費繰越額 | 2,490万円                |
| 実質収支     | 2億162万7,838円の黒字となりました。 |

#### 特別会計について

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療特別会計について、いずれも黒字決算となり健全な財政運営が行えました。

#### 公営企業会計について

簡易水道事業会計、特定環境保全公共下水道事業会計について、両会計ともプラスの利益余剰金を計上することができました。

#### 一般会計

##### 主な歳入について

- 1 村税は、前年度より42.7%増の1億9,952万9千円増の6億6,702万2千円。企業誘致により、法人住民税や固定資産税が増となりました。(令和3年度の村税：4億202万1千円)
- 2 地方交付税は、前年度より2,630万9千円減の17億2,234万1千円。歳入合計の構成比が42.1%となっており依存財源として高い状況にあります。

(普通交付税は15億8,122万7千円、前年度より3,298万円減。特別交付税は1億4,111万2千円、前年度より667万1千円増)

- 3 国庫支出金は、前年度より1,484万8千円減の2億6,397万4千円でした。  
(児童手当負担金4,713万8千円(前年比823万9千円増)、地方創生臨時交付金7,537万7千円(前年比1,111万7千円減)、道路橋梁災害復旧費負担金の皆増(2,135万7千円)、農業用水路改修工事補助金の皆減(3,796万円減))
- 4 寄付金は、前年度より1億8,519万5千円減の3,784万6千円でした。(ふるさと応援寄付金は寄付件数939件(前年比91件増)、1,562万6千円(前年比388万1千円増))
- 5 村債は、前年度より3億5,870万円増の4億190万円でした。(情報通信ネットワーク等高機能化促進事業、文化会館トイレ洋式化工事、小学校トイレ洋式化工事、農業用水路改修工事、図書館・総合グラウンド・テニスコート・児童センター照明LED化工事、村道青木の森1号線災害復旧工事(繰越)の財源として)

#### 主な歳出について

- 1 総務費は、13億854万6千円(歳出構成割合33.9%)でした。  
(情報通信ネットワーク等高機能化促進事業の増、財政調整基金・情報通信施設等整備基金積立金の増等で前年度より5億4,003万2千円の増)
- 2 民生費は、8億4,621万8千円(歳出構成割合21.9%)でした。  
(児童手当の増、定額減税支援金の増等により前年度より3,595万3千円の増)
- 3 農林水産業費は、2億5,597万6千円(歳出構成割合6.6%)でした。  
(農業用水路等長寿命化・防災減災事業(柿ノ木水路)の皆減等により前年度より4,656万6千円の減)
- 4 土木費は、3億2,804万4千円(歳出構成割合8.5%)でした。  
(岡石工業地周辺道路整備の減等により前年度より1億1,930万5千円の減)

その他、主な事業内容については、決算付属資料をご覧ください。

#### 積立金

公共施設整備基金へ1億円、情報通信関連事業基金へ4,000万円、また、一旦は取り崩した財政調整基金は同額を積み戻し、更に6千万余を積立て、(株)ピーアンドディコンサルティング様より義民太鼓海外遠征費用としていただいた寄付金2,000万円を地域づくり基金へ積立てました。

更にその他3基金へ積立てを行い、基金現在高は総額27億2,999万2千円となり、前年比2億3,963万3千円の増となりました。

### 健全化判断比率および資金不足比率について

健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）並びに公営企業の経営状況を判断する資金不足比率について、法律に基づき算定した結果、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率は算定されませんでした。また、実質公債費比率は7.9%で昨年度比0.2%の減となりました。

減の要因としては、税収の大幅な増による一般財源の増、及び下水道事業債の一部償還終了による準元利償還金の減が大きな要因です。

今後の見通しは、令和6～7年度に情報通信関連で緊急防災・減災事業債を約11億円発行し（予定）、その償還が令和10年度から始まります。また、公共施設照明LED化に係る脱炭素化推進事業債の発行や、簡易水道管路耐震化工事による簡易水道事業債を継続的に発行していることから、令和10年度以降は比率が、上昇することが予想されます。

### 経常収支比率について

経常収支比率とは、使途を制限されない経常的な収入（地方税や普通交付税等）に対する、経常的な支出（人件費や公債費、扶助費等）の割合であり、この比率が低いほど自由に使える財源があり、財政にゆとりがあることを示す指標です。

令和6年度の経常収支比率は76.9%となり、前年比3.5%の減となりました。

減の要因としては、物価高騰による経常的物件費や人件費が増加する中でも、それを上回る税収があり、経常的な収入が増えたためです。

### 財政力指数について

財政力指数については、3ヵ年平均で0.24、前年比0.02の増となりました。

県内町村の財政力指数の平均（令和5年度）は0.32であり、平均より0.08低い現状です。

財政全体としては、比率はすべて国の定めた制限基準を大幅に下回る比率であり、財政状況及び公営企業の経営状況ともに健全な財政運営がされており、令和6年度全体として健全財政と判断できる決算とすることができました。

これは、議員皆様のご支援ご協力によるものと厚く御礼申し上げます。

特別会計、公営企業会計につきましては担当課長からご説明をさせていただきます。

去る9月1日に村監査委員の内藤賢二代表監査委員、金井とも子監査委員から令和6年度青木村各会計歳入歳出決算について意見書を頂きました。（別添配布

しております)

この審査にあたりまして、両監査委員には長い時間をかけ慎重な審査をいただいたとともに、適切なご意見をいただき誠にありがとうございました。

今後は、いただきましたご意見を職員共々真摯に受け止め、村民サービスと住民福祉の向上につながる行財政運営に努めてまいります。

#### 令和7年度9月補正予算の概要について

一般会計第2号補正予算は、歳入歳出それぞれ7,268万2千円を追加し、総額を33億7,560万5千円とするものです。

今回の補正予算における一般会計の主な事業は次のとおりです。

#### 歳 入

| 番号 | 目          | 説 明                                               | 計上額           |
|----|------------|---------------------------------------------------|---------------|
| ①  | 地方交付税      | 特別交付税<br>※地域路線バス運行支援補助金措置分                        | 240 万円増       |
| ②  | 総務費国庫補助金   | 地方創生臨時交付金                                         | 424 万 4 千円増   |
|    |            | (繰越) 重点支援地方交付金(低所得世帯支援分) ※定額減税支援金へ充当              | 2,000 万円増     |
| ③  | 農林水産業費県補助金 | 地域発 元気づくり支援金<br>※農業振興費へ充当                         | 196 万 7 千円増   |
|    |            | 松林健全化推進事業(伐倒駆除)<br>保全松林健全化整備事業補助金<br>※松くい虫関連事業へ充当 | 1,402 万 6 千円増 |
| ④  | 一般寄付金      | 青木運輸倉庫(株)様より<br>※こども自転車全国大会出場記念ポロシャツ作成費用として       | 20 万円増        |
| ⑤  | 繰越金        | 前年度繰越金                                            | 2,732 万 8 千円増 |
| ⑥  | 雑入         | 慶太伝売上分<br>※地方創生プロジェクト事業費へ充当                       | 198 万円増       |
|    |            | 関東地域づくり協会公益助成事業<br>※観光費へ充当                        | 50 万円増        |

## 歳 出

| 番号 | 目               | 節              | 説 明                                       | 計上額           |
|----|-----------------|----------------|-------------------------------------------|---------------|
| ①  | 文書広報費           | 使用料及び<br>賃借料   | テレビ付き公用車NHK放送受信料                          | 180 万円増       |
| ②  | 諸費              | 負担金補助<br>及び交付金 | 交通安全協会青木部会へ<br>こども自転車全国大会出場経費として          | 33 万 7 千円増    |
| ③  | 地方創生プロ<br>ジェクト費 | 委託料            | 村が発刊した五島慶太翁の伝記「慶太<br>伝」立志編を 2,000 冊増刷するもの | 163 万 9 千円増   |
| ④  | 地方創生臨時<br>交付金事業 | 負担金補助<br>及び交付金 | 村内の稲作に係る基盤強化を図る事業を<br>予定                  | 500 万円増       |
| ⑤  | 村営バス<br>運行管理費   | 負担金補助<br>及び交付金 | 千曲バス青木線の運賃低減事業終了に伴<br>う負担金の減（下半期分）        | 468 万 3 千円減   |
|    |                 |                | 千曲バス青木線の営業赤字分を上田市と<br>青木村で補助（下半期分）        | 320 万円増       |
| ⑥  | 老人福祉費           | 委託料            | 高齢者生活福祉センター高圧引込柱機器<br>更新工事                | 132 万円増       |
| ⑦  | 定額減税支援<br>金     | 負担金補助<br>及び交付金 | 令和 6 年度に実施した定額減税に係る不<br>足額給付              | 1,874 万円増     |
| ⑧  | 農業振興費           | 備品購入費          | ※地域発 元気づくり支援金事業<br>竹粉碎機購入                 | 246 万 5 千円増   |
| ⑨  | 林業振興費           | 委託料            | 保全松林健全化整備事業委託料                            | 2,099 万 5 千円増 |
|    |                 |                | 松林健全化推進事業（伐倒駆除）                           | 945 万円増       |
| ⑩  | 中学校<br>学校管理費    | 工事請負費          | 中学校給食室空調設備修繕工事                            | 328 万 9 千円増   |

以上、補正予算の内容を説明させていただきました。

詳細につきましては、教育長並びに担当課長からご説明致しますので、ご審議の上、ご議決いただきますようお願い申し上げて、あいさつとさせていただきます。